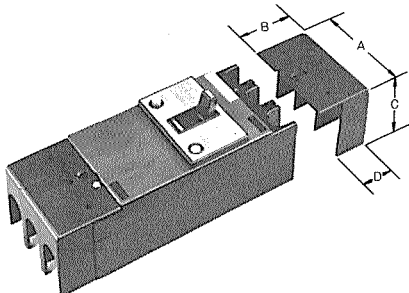


1. 表面形端子カバー TMC 別売品

●表面形端子カバー寸法表 (2P・3P用)

型 名	適 用 器 種	A	B	C	D	寸 法
TMC-OB	GB-52SA	75	26.5	35	4.5	
TMC-5	GB-603H, GB-603F GB-803F LGB-603HA LGB-803FA LGB-1003F	210	154	95	129	
TMC-5B	GB-403C	150	145	83	95	
TMC-6	LGB-1203FA	210	159	145	130	

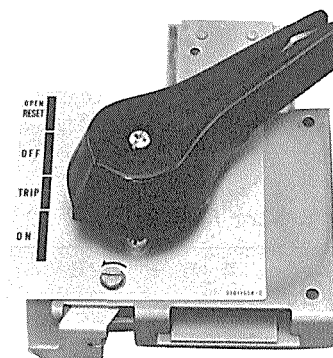
注) ①上記以外の端子カバー及び、裏面形端子カバーについては「仕様と外形」の項を参照下さい。

②TMC-6は電源側のみ標準品に付属されております。

2. 外部操作ハンドル ●レバー形ハンドルHA

〈特 長〉

1. シンプルなデザイン
2. 各種インターロックが標準装備
3. 盤取付が容易
4. ハンドルロックも容易にできます
5. 指示銘板は銀梨地に黒文字、ハンドル黒(マンセルN1.5)



■ハンドル取付方法

1. 穴明加工図①②により扉の穴明けを行って下さい。
遮断器取付のための穴明けは、各々適用遮断器の寸法図により行って下さい。
2. 扉インターロック不要の時は扉インターロック用板は必要ありません。
3. 外部操作ハンドル本体からハンドル締付ネジをはずし、ハンドルを抜きます。扉の取付穴に本体を裏面よりさし込み表面から指示銘板と共に付属のネジで締付けてからハンドルをもとの状態に取付けます。
4. 指示銘板の表示と外部操作ハンドル本体のハンドル位置が一致しないときは、外部操作ハンドル本体又は、指示銘板を上下させて調整して下さい。
5. 遮断器が“ON”の時は、ハンドルは図-AのようにONを示し遮断器が“OFF”の時はハンドルはOFFを、“トリップ”の時はTRIPを示します。
扉を開くときはOPENの方向にハンドルを回して下さい。ON状態で扉を開ける時は扉インターロック解除レバーをドライバーで矢印方向へ回して下さい。
ハンドルを施錠する時は、図-Bの様にON、OFFの位置で施錠して下さい。
6. 扉を閉める場合は必ず遮断器が“OFF”であることを確認してから、ハンドルをOFF位置にし扉をしめて下さい。

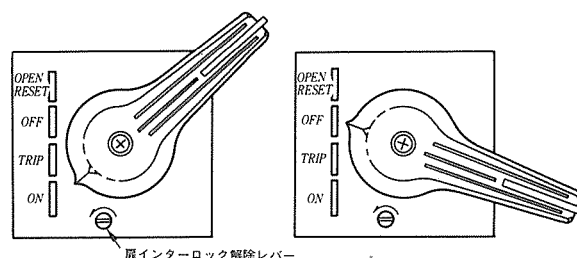


図-A

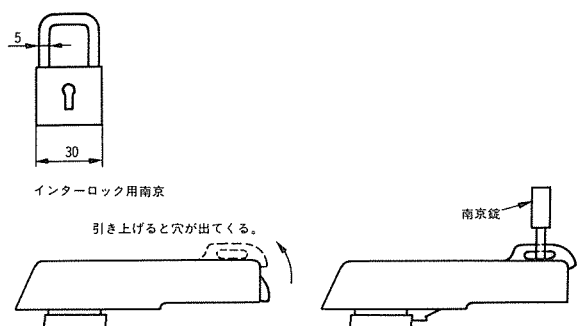


図-B